

第2回 圏域地域医療構想策定委員会

|               |   |
|---------------|---|
| 圏域            | 淡路圏域  |
| 日時            | 2016/2/4(木)14:30~16:30  |
| 場所            | 洲本市市民交流センター 1階会議室   |
| 司会            | 齊藤委員長(南あわじ市医師会副会長)  |
| 出席者           | 欠席 鈴木委員<br>代理人が出席 松田委員、藤原委員、中谷委員、<br>中林委員、伊富貴委員、赤松委員<br>上記以外は別紙委員名簿のとおり本人出席   |
| 議事次第<br>内容    | 議事<br>1 病院ワーキング会議の結果について<br><br>2 地域医療構想淡路圏域の課題及び具 体的な施策(案)について<br><br>3 今後のスケジュールについて  |
| 結論            | ・事前に「圏域の課題及び施策」(案)を各構成員に送付し、事前事務局に送付された修正案を確認。<br>・医務課記載分とも合わせ、修正後各構成員に圏域案の最終分を送付。<br>・次年度からは調整会議で課題等を検討する。   |
| 主な意見・<br>質疑応答 | Q(委員)医療従事者の確保について、県の養成医を淡路に確保することは現実的に難しいのではないのか。淡路よりも人口比的に医師数が少ない圏域がある。圏域案に記載しても困難ではないか。<br>A(委員)行政の協力の必要。総合診療医やその指導ができる医師の確保も含め、圏域案に事務局が整理して記載する。<br><br>Q(委員)淡路医療センターは、地域包括ケア病棟を持つことについてどう考えているか。「地域包括ケアを担う」のと「地域包括ケア病棟を持つ」のは別の意味か。<br>A(委員)地域包括ケア病棟には2つの意味があり、「急性期を抜けた人」と「地域で悪くなった人」をレスパイトを含め受けて行くこと。後者を地域包括ケア病棟で受けて行きたい。できれば1病棟分45床程度。時期はまだ決められない。 |
| 次回までの<br>課題   |   |